

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～



長崎市立三原小学校

「誇りをもち、主体的で、自律できる子どもの育成」

～安全・安心を大切にする三原っ子～



MIHARA TIMES

令和6年6月10日発行

文責 校長 増崎 祥宣

水泳学習 がんばっています。

5月29日（水）から水泳指導が始まっています。

今年も学校のプールではなく、スポーツクラブNAS長崎にお世話になっています。低・中・高学年の2学年ずつの実施でそれぞれが3つのコースに分かれて指導員の方に教えていただいています。指導員の方には、泳ぐコツを分かりやすく教えていただき、子どもたちも楽しく泳ぎながら、どんどん上達しています。回数や時間は短いですが、内容の濃い水泳学習になっています。

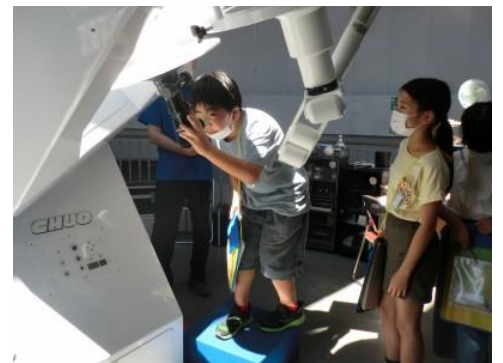


科学館、原爆資料館に見学に行きました。

6月4日（火）、5年生は、長崎市科学館と原爆資料館に見学に行きました。

長崎市科学館では、初めに科学工作を行いました。工作は厚紙とビーズで簡易顕微鏡を作り、塩の結晶を見ました。その後、展示室に行き、恐竜のことや科学のことを体験しながら学びました。最後は、プラネタリウム。三原小の運動場の写真を見ながら方位を確認しました。星座や星をみながら宇宙のことを学びました。

原爆資料館とその周辺では、平和学習を行いました。爆心地公園や平和公園では、平和を祈る気持ちを深めました。原爆資料館では、原子爆弾の恐ろしさや戦争の悲惨さを学びました。なぜ、長崎に原子爆弾が落とされたのか、原子爆弾の被害の大きさなどを爆風・熱線・放射能の被害に分けて学習しました。平和を考える、いい機会になりました。



多様性について 出前講座を行いました。

4年生は、総合的な学習の時間に人の多様性について学習しています。6月4日（火）には、「Take it! 虹」の代表をされている儀間 由里香さんに来校していただき、出前講座をしていただきました。あたりまえって何だろう？と考えたり、「ちがい」を楽しむことを学習したりしました。子どもたちは、LGBTQ や人の多様性について考えるいい機会になりました。

